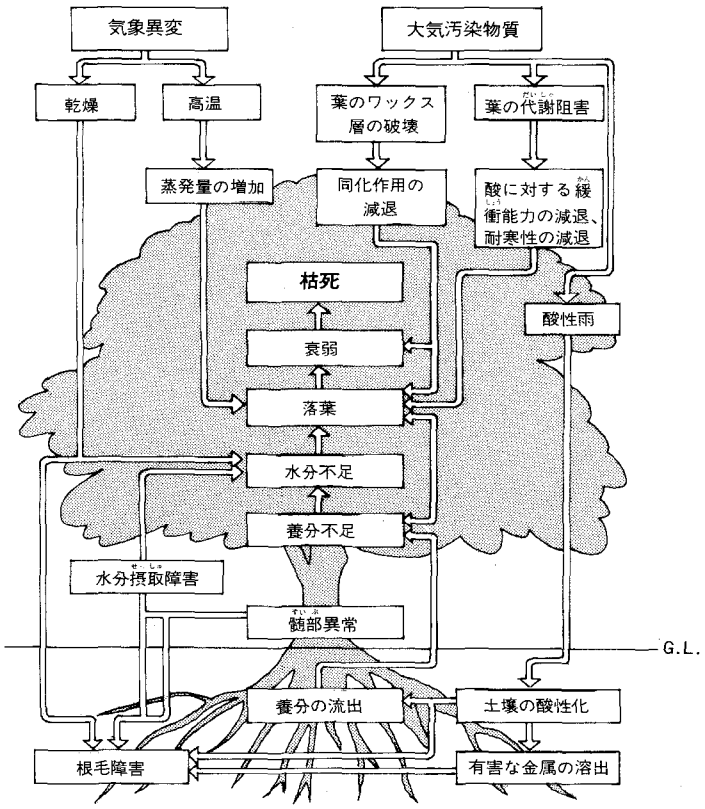
カラム

「酸性雨」

ヨーロッパや北アメリカなどで，酸性度の強い雨による森林や湖沼の被害が問題になってから相当の年月が経過したが，国内問題ではなく国際間での広域的問題であるため解決の見通しがついていない。最近，この種の国際環境問題の協議の遅れに対し，英国のチャールズ皇太子が〝地球が死んでから処方箋を書いたのでは遅い。〟という意味の発言をされ，有名になった。例えば，最近の西ドイツの研究による森林の枯死現象のメカニズム（図参照）をみても，どの過程が枯死に最も影響を及ぼしているかについては意見が分かれている。しかし，わが国の昨今の現状をみてもpH 3以下の酸性雨が各地で観測されており，発展途上国としての中国，韓国を控えた日本の酸性雨対策は極めて不十分といわざるを得ない状況である。わが国はもとより，近隣諸国に対してもＯＤＡを通じての多様な対応が望まれるところである。

（T.K.）